

1人でも多くの母と子が母乳で育てられる幸せを

'93 第2回

**「母乳をすすめるための
産科医と小児科医の会」**

1993年7月31日～8月1日
大阪市 新阪急ホテルにて

'93 第2回

「母乳をすすめるための
産科医と小児科医の会」

1993年7月31日～8月1日

ユニセフ後援

刊行にあたって

1992年に、8月1日を「世界母乳の日」、8月第一週を「世界母乳週間」と定められたことを記念して開かれた「母乳をすすめるための産科医と小児科医の集い」は日本の母乳育児の運動で、大変意義のあるものとなりました。

この「集い」は昨年6月にご逝去されました元国立岡山病院名誉院長の山内逸朗先生の呼びかけで、ユニセフの後援を得て、開かれたものです。熱心な討論の場となったこの集いは、日本各地に大きな反響を呼び、日本の母乳育児の運動に新しい頁を加えることになりました。

山内逸郎先生は、母乳育児成功のためには出産直後の母子の扱いが最重要と、そのキーとなる産科医との連携を願っておりました。そのために、恒常的に活動できる「会」への準備をされておりましたが、残念なことに、昨年6月8日に御逝去されました。

しかし、山内先生のまかれた種は芽を出し、確実に育っています。産科医と小児科医の集まりから、助産婦、看護婦、保健婦など母乳育児にかかわる方々、そして母親たちと共に活動する会へと発展してきました。

この本は、その「会」の第一歩となった'92年の会議の記録集です。今後も、毎年、8月の世界母乳週間に会議を開催し、その記録集を発行していきたいと思っております。

1人でも多くの方にお読みいただき、ご批判をいただければ、幸いです。

(尚、8月1日の永六輔氏の特別講演は収録されておられません。御了承下さい。新聞記事については、永六輔氏、毎日新聞社の許可を得て、転載させていただきました)

「母乳をすすめるための産科医と小児科医の会」
運営委員長 橋本武夫

母乳育児を成功させるための10カ条

産科医と小児科医へのメッセージ 山内逸郎

哺乳動物の掟

母乳権

医療者の意識改革

母乳育児成功のための必要条件（山内3.5カ条）

支援組織

誤解誤認

山内逸郎先生を偲んで、追悼のお話

山内逸郎先生の遺志を継ぎ、日本の母乳育児推進に力を尽くしたい 南部春生 札幌天使病院

命ある限り、主義主張を貫き通した人生でした 山内尚子 大畑小児科

日本の未熟児・新生児医療のパイオニアとして、そして母乳運動 五十嵐郁子 元国立岡山病院

心を開いて母親から学ぶ姿勢を持った偉大な医学者でした 江口みりあむ 母乳育児サークル

山内逸郎先生の切り開かれた道を、誰もが歩める大きな道に 秋山実男 産科婦人科秋山記念病院

赤ちゃんとお母さんにフレンドリーな先生でした ラ・レーチェ・リーグ・インターナショナル

「世界の子供達の恩師・山内逸郎先生のこと」 永 六輔 放送作家

〔第1部〕

ヒトにおける母乳育児

ユニセフ・メッセージ

母乳育児成功のための10カ条：世界の動きと母乳育児

ジェヒー・ワイルダー ユニセフ駐日代表事務所

母乳育児に対する行政の対応について 厚生省母子衛生課 正林督章

母乳と歯—虫歯や噛む乳首について 長坂信夫 広島大学小児歯科学教室

母乳栄養と人工栄養—戦前、戦後の乳児栄養を振り返る 今村栄一 小児科医

母乳育児と言語の発達—母乳の子供と人工乳の子供との違い、母子関係の中の言語発達について

志村洋子 埼玉大学教育学部

〔第2部〕

教育現場と母乳育児

新生児の生理と出産後の体と心の変化—これが母乳だけで育てられる理論的バックボーンとなる

橋本武夫 聖マリア病院新生児科

医学生への母乳教育—医学教育における母乳教育の問題点を明らかにし、改革の視点を提起する

多田 裕 東邦大学医学部新生児学教室

大学病院での完全母子同室への改革—改革にあたっての問題点、その後の状況、大学病院での母子同室の影響力

福田雅文 長崎大学医学部小児科

母親から医療者へのメッセージ

ベッキー・アクスレイ ラ・レーチェ・リーグ・インターナショナル 東京中央リーダー

〔第3部〕

「母乳育児成功のための10カ条」の医療現場における実践

助産婦の果たす役割—国立岡山病院が「完全母乳」にするまで

山谷沢子 国立岡山病院乳房センター

産科開業医での実践報告①—ソフロロジー出産と母乳育児

岡村博行 岡村産婦人科医院

産科開業医での実践報告②—出産直後からの同室、ユニセフ式にしてみよう

石井廣重 石井第一産科クリニック

病院での完全母子同室への改革—改革にあたっての問題点、その後の状況

三宅 潤 聖バルモア病院小児科

開業小児科医と母乳—母乳不足に対する指導 新津直樹 新津小児科医院

総合討議

「噛む乳首」の問題ですが、フィンガーテストでよくわかります
母乳と歯について—歯科医の立場から
スタッフ、母親の意識が変わり、完全母子同室に
赤ちゃんを避けている人をいかに支援するかが大切
小児科が出生前小児保健指導として、母親に「母乳の大切さ」を
お母さんの揺らいでいる状況をいかに支えるかが大切
100人のお母さんがいれば、100の悩みがあります。
小児科医は体重の問題をもっと真剣に勉強した方がよい
ともかく最初は泣いたら吸わせることが、大切ではないでしょうか

〔第4部〕

社会と母乳育児

元厚生官僚および周産期専門医から見た母乳

関 修一郎 煌漢堂・関クリニック 元厚生省児童家庭局母子衛生課

地域ぐるみの母乳育児活動—富山県における母乳育児推進活動

瀧上 進 瀧上医院 富山県母乳育児推進協議会長

母乳育児支援組織からの報告①—お母さん達の会 片桐田鶴子 札幌母乳育児をすすめる会

母乳育児支援組織からの報告②—群馬県母乳育児を広める会 鈴木政子 前橋協立病院小児科

女性医師の母乳育児—母乳育児をする母親として、また母乳育児をすすめ、支援する医師として

中尾聡子 中尾医院

母乳育児に対するマスコミの影響と役割 田辺 功 朝日新聞科学部

働く女性と母乳育児—働くお母さんにやさしい職場を

川谷和子 ラ・レーチェ・インターナショナル・大阪リーダー

母乳権—母親が母乳を飲ませる権利と赤ちゃんが飲む権利

大西鐘壽 香川医科大学小児科学講座

〔第5部〕

母親と医療者との交流会

母乳確立をめぐる誕生周辺の問題

横浜市の産婦人科への電話調査にがっかりしました（母親から）

公的病院から、いかに新生児ルームをなくすかが問題（小児整形外科医から）

3人目を妊娠。糖水の問題で医師と食い違い（母親として、保健婦として）

お母さん方が、何度も先生にお話して欲しい（産科医から）

母乳に最適な開業助産婦が増えることを願います（開業助産婦から）

医療というのは、すぐに変えられないのです（病院医師の立場から）

母親教室で「即日同室」の大切さを話しても受け入れるのは半分（開業産科医から）

医療側は、お母さんの意見を聞き入れるべきだと思います（小児科医から）

6ヵ月ごろまでの赤ちゃんの問題

「混合から母乳だけにしたい」という電話相談が最も多いのです（母親から）

母乳を飲ませられない人を切り捨てない運動を（小児整形外科医から）

母乳育児が当たり前の時代が、再びやってきます（小児科医から）

お母さん方、どうぞ、何でも悩みをお話ししてください

育児時間が1年間というのは短かすぎる（母親から）
保健所の3ヵ月診断で指導される離乳食にとまどう母親達（助産婦から）
全国の支援グループのお母さん達のアンケートを取りました（母親から）
周りの雑音といかに闘うかが、難しい問題です（母親から）
バンコクで母親支援グループの活動をしていました（母親から）
病院の栄養士さん達をこの会に入れて欲しい（雑誌編集者から）
ユニセフ・WHOでも4ヵ月から6ヵ月までは、母乳だけで…
母乳をやめて離乳食だけにする必要はないと思います（小児科医から）
離乳食も食生活という幅広い考え方で捉える必要があります（小児科医から）

母乳と歯、その他について何でも討論

歯科の立場からいうと“離乳食”に代わる言葉を（歯科医から）
トレーニングという言葉は母親を不安にさせないでしょうか（雑誌編集者から）
赤ちゃんの発達のタイミングをみて始めることです（歯科医から）
母乳だけで育てているとき、早めの果汁のデメリットを教えて欲しい（母親から）
医学生の時に「妊娠したらおっぱいに触るな」と教えられた医師が多い（産科医から）
保健所や医師の言葉は大きな影響力を持っていることを知ってください（母親から）
母乳についての正しい知識が本当に少ないと思います（保健婦から）
初めての子育てはとまどうことばかり、周りの意見に迷います（母親から）
国の各省庁が子育て支援策を打ち出しています（小児科医から）
よいお産が母乳育児の原点、助産婦は頑張っています（病院助産婦から）
子育ての主役は母親、周りの者は専門家でも「助言」です（小児科医から）
何をやっても母乳が出ない母親のことも考えていきたい（助産婦から）

入院期間中は、ほとんど100%母乳だけでできるのです（産科医から）

「足りない」と思い、ミルクを足す母親を何とか援助したい（産科医から）

出ないという母親の多くは心の問題が大きいのでは（助産婦から）

退院後、どうしても足りない母親には、私がミルクで育ったこととお話しします（産科医から）

山内先生は母親達の体験に耳を傾け、世界の情報をみていました（母親から）

医師達は、万が一の危険性を考えているのです（小児科医から）

〈終わりに〉

全国の熱意ある方々と共に、会の発展をめざしたい（運営委員長より）

〈交流会を終えて〉

立場を超えて一致できると感じた母乳育児

自然や動物行動学がら学ばなければなりません

母乳で育てたいと願うお母さん達の支えに、この「会」はなっていくでしょう

〔資料〕

赤ちゃんにやさしい病院（Baby Friendly Hospital）

母乳育児は世界の流れに

母乳代替品のマーケティングに関する国際基準（WHO基準）

粉ミルク無償提供禁止

「母乳をすすめるための産科医と小児科医の会」設立にあたって

「母乳をすすめるための産科医と小児科医の会」会則

入会申し込み書

編集／永山美千子

編集協力／舟山弓子 堀田八重子 松田絃子

山本みゆき 永山聡子